

## 平成 29 年度 学校評価

学校法人 光宝寺学園

### 1. 本園の教育目標

「よく遊ぶ子」、「よく頑張る子」、「よく考える子」という三本柱を保育の中心に置き、主体的に活動できる子どもに育てることを既に取り組んでおりますが、更に、当該理念の拡充を目指しております。

### 2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

一人ひとりの園児との関わりを丁寧に、園児の気持ちにより添って発達段階に応じた保育を行う。

### 3. 平成 28 年度 評価項目の達成及び取組状況

保育の計画	園児が楽しんで取り組めるように、工夫しダイナミックなあそびが展開できるようにカリキュラムを組んで対応しました。	A
保育のあり方	あそびを中心として多様な経験を積むことで、発達に応じた保育を心がけ、保育者が画一的な保育にならないように取り組んでいく。	B
保護者への対応	子育ての支援を行うとともに保護者に園児の様子を連絡するよう努めております。	B
人材育成	体育あそびについて継続的な園内研修を行い、造形あそびについても、園児に即した表現や技法を学ぶことが出来た。課題となる行政及び関係団体主催の園外講習への参加を促しております。	C
更なる向上	生命尊重の保育をすすめる中、園児一人ひとりが自ら生き抜く力を育めるような保育をすすめる必要がある。よくあそぶ子、よくがんばる子、そしてよくかんがえる子といった三本の柱をより意識した保育計画に力を注いでいく。	B

#### 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<b>B</b>	学校評価を実施する中で、園児が楽しめる保育内容に高評価をいただいた。また、多彩な講師陣との連携が保育に反映している。一方、子ども一人ひとりの考える力を培うといった課題が明確になったことを今後の教育活動のなかで反映していく。
----------	---

#### ◎「3. 4」の評価結果の表示方法

<b>A</b>	十分達成されている
<b>B</b>	達成されている
<b>C</b>	取り組まれているが、成果が十分でない。
<b>D</b>	取組が不十分である。

#### 5. 平成 29 年度 取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
保育の質の向上	職員の経験に基づく保育技術が他の職員に如何に伝承されていくかが課題である。 保育者のみならず講師陣の協力を上手く発揮して、保育の質の向上につながるように入材育成に今以上に取り組む必要がある。
危機管理	日頃より防災マニュアルを全職員がしっかり把握し、緊急時に対応できるようにする。
園環境のニーズ	広い園庭や大きな樹木を保育に活かしつつ、子どもたちの興味関心を受け止め、発展していくように援助していく。地域で取り組んでいる紙芝居の読み聞かせを取り入れ地域との交流など歴史ある当園の強みを周知させるよう努めていく。
情報公開	当園自身で自己評価を行い、自身の取り組みに対する見直しや共有すべきところを明らかにすることで、さらなる課題と目標を見出し実践する。

## 6. 平成 28 年度 学校関係者の評価

身体的にも精神的にも講師の個性的な指導が子どもたちのあそびや学びの刺激になっている。
家庭において、子どもが基本的な生活習慣・マナーを園で身につけていることが伺える機会に出会える。
PTA 活動が活発なため、保護者同士の情報交換など有意義な交流の場となっている。
子どもが幼稚園に行くのを大変楽しみにしている姿を見ていると、園での子どもの充実感が伝わります。
職員の礼儀の正しさが、子どもにも自然と伝わる
老人施設訪問や公園の落ち葉拾い、商店街や淡路駅周辺の清掃活動が継続され、地域の方とも交流を得ている
「子どもたちの笑顔のために」という主旨で結成されたお父さんの会が協力的に機能している

## 7.平成 28 年度 財務状況

公認会計士による監査において、財務状況が適正であると評価をうけております。
---------------------------------------